

群馬県立前橋高等学校 学校評価一覧表②（令和２年度版）								No. 1
羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具 体 的 数 値 項 目	①	②	総合			
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は９０％以上である。	A	A	A	コロナ対応下で制限はあったが、工夫して行事等の活動を実施できた。	方策を継続し、生徒が誇りを持てるようにしてほしい。	学習、部活動、学校行事のバランスをとりながら、さらに充実を図りたい。
		② 「総合的な学習の時間」（３年）や「探究基礎」（１年）、「科学探究Ⅰ」「探究総合」（２年）における活動を通じて自らテーマをみつけ、解決していく探究力が身についたと感じる生徒が８０％以上である。	B	A	A	コロナ禍の中、予定していた時間数より少なかったがゼミごとに課題研究に取り組み、三密を避けながらSSH成果発表会を行うことができた。成果集の発行にまで繋げることができた。	・探究活動等を通じ、経験・体験から得る学びの可能性を広げていってほしい。 ・問題解決までの過程を、他者に分かるように文章で伝える能力まで指導してほしい。	・探究活動３年目になる。テーマや研究手法などを先輩が後輩に伝えていく等の学年間の連携を図っていきたい。 ・研究成果をポスターにする際、他者に伝える表現法の技術をさらに向上させていく指導を行いたい。
		③ 「イノベータ講演会」が探究活動の充実や活動意欲の向上に役立っていると感じる生徒が８０％以上である。	A	A	A	講演会後のアンケートへの感想や質問力の向上に向けた評価によると、概ね講演会の趣旨を理解し、自分事として講演内容を理解することができた。	・新たな観点・視点を与え、領域を拡大させていることに生徒が多く気づいている。 ・外部講師招聘を継続してほしい。	引き続き外部講師を招いて講演会を実施したい。大学・企業等幅広い中から講師を選択していきたい。
		④ Oxbridge研修やその報告会などのグローバル教育を通じて、グローバル社会での生き方や異文化に対する理解が進んだ生徒が８０％以上である。（１・２年のみ）	B	B	B	Oxbridge研修中止のため、報告会が実施できなかった。コロナ禍のため、交流事業ができてにくい状況ではあるが、数少ない研修の機会を生徒に伝えて、外部教育活動への参加を促した。	・コロナ禍で厳しい状況だが、グローバル研修の流れが止まらないよう工夫してほしい。 ・ICTを活用して、オンラインでの国際交流なども検討してほしい。	ICTの利用を視野に入れた、グローバル社会に対応しうる人材を育てるための方法を探っていきたい。
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① ５５分となった授業が工夫されており、授業に８０％以上の生徒が満足している。	A	A	A	５５分授業の実施も２年目となり、工夫が進められている。授業改善も行い、さらに満足する生徒の割合を高めていきたい。	ICTの活用を一層進めてほしい。	一人一台端末（クロームブック）の授業における活用を検討していきたい。
		② 英語や数学などの教科で行っている少人数授業や習熟度別授業に９０％以上の生徒が満足している。	A	A	A	今年度はコロナ禍で指導が難しいところもあったが、アンケートにおける目標はほぼ達成できた。	少人数ならではのきめ細かい指導（文章の添削など）を積極的に行ってほしい。	少人数を生かした指導を、授業改善と合わせて引き続き検討したい。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	① 生徒自ら考え、発表するなど、主体的な活動を行う生徒が８０％以上である。	A	B	B	臨時休業で授業時間が大きく削らたことで授業展開にも影響が生じ、例年に比べて評価が低くなった。	・保護者、生徒の評価が低い。 ・どのように協働的な学びを実現させていくかは重要である。	今後も主体的な活動意欲の低い生徒に対するアプローチの仕方を各教科で検討し、実践していく。
		② 生徒が主体的に授業に取り組めるような授業改善のための研修会を各学年で年に２回以上と教科でも実施している。	—	A	A	SS科目で、ジグソー法やクロスカリキュラム、ディベート活動などを取り入れたカリキュラム開発の公開授業を行った。	継続して取り組んでほしい。	カリキュラム開発の授業公開を行っている。より多くの参加者を得て、活発な授業研究が行われるようにしたい。
		③ 「土曜ＡＬ」の活動に参加し、主体的な学習に取り組もうとした生徒が８０％以上である。（１・２年のみ）	B	B	B	８講座を開くことができた。昨年度と引き続き、参加生徒の満足度は高いが、参加しない生徒の満足度が低い結果となった。	部活動との兼ね合いで参加できない生徒もいると思うが、内容の共有を図る工夫があると思う。	土曜ＡＬで講座に参加すること以外に、課題研究に向けた取組など、主体的に生徒が活動する内容を検討していく必要がある。
		④ 英語等によるコミュニケーション能力が向上していると感じる生徒が８０％以上である。	A	B	B	英語による主体的なコミュニケーション活動を授業内で実施した。	単純なコミュニケーション能力を、一歩進めた創造性や協働性を含んだスキルアップを図れるとよい。	英語に限らず「コミュニケーション能力」とは何かを考察し、生徒に適切な能力を付けられるよう努めていきたい。
		⑤ 各教科・科目で「探究的な学び」を取り入れた授業を行い、学習内容がより深く理解できたと感じる生徒が８０％以上である。	B	B	B	「探究的な学び」を取り入れた授業実践を行い、授業についての検討を各教科で行うことで、指導力の向上に努めた。	探究的な学びを先進的に取り入れている点は素晴らしい。	各教科で「探究的な学び」を取り入れ、ICTの活用も検討しながら、生徒自らが深い探究的な学びを行えるように指導していきたい。
	4 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	① 平均家庭学習時間を１・２年で３．０時間、３年で４．５時間以上確保して、予習と復習に努めている。	B	B	B	臨時休業中のオンライン動画配信など、教科や学年で工夫を凝らした成果がある程度現れていると思われる。	家庭学習の具体的な方策例等を示し、効果的な学びのサイクルづくりをお願いしたい。	生徒１人１台ＰＣを効果的に活用することで、自主的な学習の機会を広げていきたい。
		② 校内での朝学習や放課後の自習室利用など、校内での主体的な学習に取り組む生徒が７０％以上である。	B	B	B	マスクの着用、手洗い・手指消毒等、定期的な喚起を呼びかけるとともに、座席を間引いて密の回避を図りながら生徒の利用を促した。	校内に自ら学ぶ場所があることはよいが、感染対策が難しい。	今後も感染症対策を徹底しながら、県の方針に則って活用を促していきたい。
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 学年会議・生徒指導部会議・教育相談係会議において、月に２回以上の生徒に関する情報交換を行っている。	B	B	B	学年会議・教育相談係会議においては、授業内に設定できるので、月に２回以上の生徒に関する情報交換を行っているが、生徒指導部会議は難しい状況である。	生徒数が多く、目が行き届きにくいと思うが、問題行動等の早期把握をし、指導していただきたい。	生徒指導会議においては、今年度と変わりないと思われるので、最低限月１回程度の定期的な会議の設定が望まれる。
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 遅刻をする生徒が、全校平均で１日あたり１０名以下である。また、欠席率は１％以内（３年生は２％以内）である。	A	A	A	臨時休校や感染症対策のため欠席遅者数の統計の把握が難しかったが、遅刻者については少なかった。	日頃の生徒指導の成果が表れている。	今年度同様、学年職員による生徒玄関での登校指導を引き続き行うことで遅刻防止の取組を行う。
		② 学校全体で、挨拶運動や規律遵守に取り組んでいる。	A	A	A	校内においては、挨拶がしっかり出来ていて、外部からの来客にも好評である。	生徒が規範意識を高めていくことは人格形成につながる。生徒を尊重してくれることが自主・自立につながる。	校内においては良好であるが、校外においては苦情なども届いており、その点の注意が必要である。
	7 生徒が自主的に活発な活動をしていますか。	① 部活動に実人数で９５％以上の生徒が加入している。また、関東大会以上に出場の部活動５つ以上を目指す。	A	B	B	新入生向けの部活動紹介動画は配信したが、入部前に実際の活動を見る時間が少なかったため、加入率の減少とともに入部人数に偏りが出てしまった。	部活動加入率の高さは、「三兎を追え」の方針が浸透していることがうかがえる。	すべての制約が解消されないことを前提として、新入生向けに部活動をどのように紹介していくかを検討していく。
		② 部活動が生徒の主体性を生かし、メリハリのある活動の中で充実していると感じる生徒が９０％以上である。	B	A	A	多くの大会や発表会が中止された中でも、部活動満足度は目標値を達成できた。生徒達の主体的な活動の結果であると考えられる。	生活面から部活動へ落とし込めるような考察の機械を作してほしい。	これまで行ってきた各部の活動に加えて、感染防止を含むコロナ禍での活動を各部の実態に即して考える機会を作りたい。
		③ 部活動に取り組む生徒のうち、文武両道を実践していると感じている生徒が７０％以上である。	B	B	B	生徒アンケートと保護者アンケートの結果を見ると、両者の考えが違っていることが分かった。生徒は自身の評価を厳しく見ているようである。	ともすればバランスをくずしやすいので、指導側がアドバイスをしていくことも重要である。	クラス担任や部顧問に適切な指導を促していき、各生徒の勉強と部活動へのバランスの取れた動機付けがなされるようにする。

群馬県立前橋高等学校 学校評価一覧表②（令和２年度版）
(様式２)

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具 体 的 数 値 項 目	①	②	総合			
		④ 定期戦及び優曇華をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、自主的・主体的に取り組めた生徒が８０％以上である。	A	A	A	定期戦を開催できたことは大きな成果であった。実施に向けて実行委員の生徒が様々な点から尽力したことは、他の生徒達にも好影響を与えたと考えている。	学校はその時にできる最大限の対応を生徒とともに考えてほしい。	６月に開催予定の文化祭に向けて実行委員の生徒達に適切な指導と情報提供を行う。その後の行事では文化祭実施の経験を生かしたい。
	８ 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	① 本校の「スマホ利用ルール」を理解し、それに従った生活ができている生徒が８０％以上である。	B	B	B	入学の手引きに掲載したり、年度当初に利用ルールを各教室に掲示しているが、入学時にすでにスマホを持っている生徒も多くなるなど、状況が変化している。	・スマホ、SNSの利用は家庭との連携が欠かさない。 ・職員もスマホ利用の習熟度を高めてほしい。	現在の生徒の利用実態を把握し、利用ルールの変更も検討していく時期に来ていると思われるため、生徒会本部役員と調整を行う。
		② 学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていると考えている生徒が９０％以上である。	A	B	B	教育相談の先生方を中心に、学年団の協力の下、いじめ防止については確実に実施できていると考える。	・早期発見・早期対応のためには、職員の感度向上が必要である。 ・常に声を掛け合える雰囲気づくりをお願いしたい。	SNS上の問題が増加する中、過去の指導事例等を基に注意喚起を行い指導を行う。
	９ 読書指導が行われていますか。	① 学校図書館の貸出冊数が7,000冊を超えている。	A	B	C	新型コロナウィルスの影響で、ビブリオバトルなど多くの行事が中止となった。SFフェアなどの広報活動も行ったが目標達成はできなかった。	生徒が積極的に利用していることが窺える。	ICTを推進し、電子書籍化によって借りやすい環境を整備する。ブックフェア開催やビブリオなど図書委員会の主体的な活動を促す。図書だけでなく総合的な情報発信基地としたい。国語や探究など教科・科目との連携を強化する。
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	10 計画的な指導を行っていますか。	① 進路に関するLHRを各学年で年に１０回以上実施し、８０％以上の生徒が進路選択の参考になると認識している。	B	A	A	新型コロナウィルスの影響で大幅な見直しを余儀なくされたが、年間を通じて、指導のねらいは十分に達成できたと思う。	生徒の高評価は素晴らしい。	今年度の経験を生かして、３年間を見据えたより有効的な計画を再構築していく。
		② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、８０％以上の生徒が役に立つと認識している。	A	A	A	96%の生徒が「役に立つ」と解答している。特に「進学の手引」は前高生のバイブル的存在となっている感がある。	引き続き有効活用されるよう努力してほしい。	引き続き、生徒や保護者のニーズに合った情報を提供していきたい。
		③ 大学・企業・研究所研修、インターンシップ等のキャリア教育行事に満足している生徒が８０％以上である。	B	A	B	新型コロナウィルスの影響で、体験学習の多くがWeb開催に切り替えられた。一方、オンライン開催による研修等は場所と時間の制約を大幅に削減した。	直接体験することは、学びを広げ、深めてくれるので、中止されたことは残念である。	今の状況が続くようであれば、様々な媒体をうまく活用した取組を考えていかなければならない。
	11 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	① 早朝補習や長期休業中の補習授業が、進路希望の実現に役立っていると感じている生徒が８０％以上である。	A	A	A	長期休業中の補習では、オンライン視聴も選択肢に加え、生徒の利便性を図った。	職員の工夫や努力は素晴らしい。	コロナ禍における全員補習の在り方について、柔軟に対応していく必要がある。
		② 夏季休業中の学習合宿に参加した生徒のうち、学習合宿が進路希望の実現に役立っていると感じている生徒が９０％以上である。	—	—	—	中止	よい活動なので中止は残念だが、今後もどのようなか分からないので、別の方策も検討しておく必要がある。	参加生徒の満足度は極めて高い行事であるが、今の状況が続くようであれば、代替策を模索しなければならないだろう。
		③ 生徒のより高い進路目標の実現を目指し、生徒の大学合格率が８０％以上、大学進学率が７０％以上である。	未		未	担任と生徒との個別面談が綿密に行われており、円滑で納得のいく出願指導ができている。	共通テストの分析と情報収集を重ねて今後の進路指導に活用してほしい。	志望校検討会と個別面談が有機的につながるような流れを作っていきたい。
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	12 家庭、地域社会に積極的な情報発信をしていますか。	① 「前高Web page」の内容について、満足している保護者が９０％以上である。	A	B	B	前高Webページの内容の見直しを行った。以前よりも随時更新を心掛けるようにした。	情報量が適度でタイムリーである。	情報発信をよりタイムリーなものとし、見やすさも向上させる。
		② 学校通信「前高通信」などによる学校からの情報提供に満足している生徒・保護者が９０％以上である。	A	B	B	「前高通信」については、各行事の中止によりの発刊に苦労した。それ以外の情報提供については、適切な発信を心がけた。	配布物が目につきにくいことがあるが、メールの併用で発信の通知がありありがたい。	「前高通信」については、定期的な発行などを検討するなど、学校からの情報発信をさらに充実させたい。
	13 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に２回以上実施している。	A	B	C	PTAや母の会主催の講演会等は中止となったものもあったが、SSHや土曜ALなどでは感染対策を十分とれるものは実施した。	継続して取り組んでほしい。	例年通りの講演会が実施できなければ、オンラインでの開催も考えていく。
	14 生徒の安全意識向上の取り組みを行っていますか。	① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、自転車事故１５件以下を目指して指導する。	A	B	B	外部からの交通に関しての苦情が14件であった。内容を各HRへ掲示し、情報提供と注意喚起を行った。なかなか自分のこととして捉えさせることが難しい状況である。	継続して取り組んでほしい。	交通社会の一員としての意識を高く持つ指導を引き続き行い、当事者意識を強く持てるよう指導していく。
		② 自転車事故減少に向けた交通安全教室や諸注意を受け、交通マナー・規則遵守の精神で自転車運転を行っていると感じている生徒が９０％以上である。	B	B	B	臨時休校であったにもかかわらず、2学期終了時点で前年度の事故件数と同数となった。危機意識を高めるため下校時においても正門で注意喚起の指導を行った。	令和３年４月から新しい条例（保険加入、ヘルメット着用）が施行されるので、十分理解し対応を進めてほしい。	条例改定に伴う情報を発信し、保険加入と自転車ヘルメットについての指導に取り組む。職員・家庭と連携し、生徒の安全確保に向けて取り組んでいきたい。
	15 環境面で生徒の安全が確保されていますか。	① 災害発生時に適切な行動をとることができると感じている生徒が９０％以上である。	B	A	B	１回の防災訓練の中で、地震と火災時の対応を行い、生徒の防災意識も高くなってきており、様々な災害時や状況に応じた行動も適切にできている。	被害を拡大させない対策について、今まで以上に進めてほしい。	台風や大雨などにおける浸水時等の避難計画も検討していきたい。
Ⅵ 学校における生徒の健康・安全に努めていますか。	16 保健面で生徒の健康が確保されていますか。	① 健康面で安心感があると、８０％以上の生徒が回答している。	A	A	A	保健日より等を利用し、新型コロナウィルス感染防止対策として、マスクの着用の徹底や石けんによる手洗い、消毒、三密回避を呼びかけてきた。また、消毒用アルコールも各教室ごとに配備し、環境を整いつつある。	健康面は、様々な学校活動に関わるので、今後も大切にしてほしい。	今後も継続して感染防止対策を生徒に伝え続けていくとともに、教室及び洗面所・トイレ等の環境整備、片付けを他の分掌、学年とともに協力して進めていきたい。